



第67期
(平成27年3月期)
第2四半期 決算説明資料

平成 26年 11月 14日

トーイン株式会社



証券コード：7923

第67期 第2四半期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の第65期は、参考値として単体決算の数値を掲載しております。
- ② 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ③ 本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。
- ④ 本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総 括

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減からの持ち直しのテンポが鈍く、個人消費や設備投資などが低迷し、政府の経済対策による景気の下支えはあったものの低調に推移いたしました。

包装資材業界においては、緩やかな回復傾向で推移していた個人消費が、消費増税の反動により鈍化したことやその後の回復のペースが緩慢であることに加え円安による諸材料価格の上昇や電力料金などのエネルギーコスト上昇など、事業環境は厳しい状況で推移いたしました。

当社グループは、このような状況のもと、包装資材事業においては、引き続き企画提案型の営業活動を積極的に展開したことにより、食品分野の売上が、前年同期比で落ち込んだものの、化粧品分野の売上が既存客先の企画品を中心に増加し、売上高は、4,818百万円（前年同期比1.6%増）となりました。利益面については、原材料費やエネルギー価格の上昇などで製造コスト増になったことや、操業開始したばかりのベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、まだ製造コスト負担が大きいことなどにより、減益となりました。

精密塗工事業は、前年第2四半期迄好調であったタブレットPC・モバイル情報端末向け部材の売上が前年並みの回復には至らず、売上高は564百万円（前年同期比20.6%減）となりました。利益面についても、主に売上高の減少により減益となりました。

その他事業は、受託包装の受注に注力したことにより、野田事業所の受託包装の売上が増加し、売上高は283百万円（前年同期比18.4%増）となりました。利益面については、売上高の増加と商品構成の一部変化により増益となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期累計期間における業績は、売上高5,667百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益84百万円（前年同期比59.3%減）、経常利益82百万円（前年同期比60.2%減）、四半期純利益69百万円（前年同期比54.5%減）となりました。

<当期のトピックス>

平成26年 4月 ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.） 操業を開始する。

平成26年 8月 SMETA監査を受審、適合評価を受領する。

※SMETA監査

世界の大手小売・食品企業が参画して策定された監査スキーム。世界標準に照らし合わせて、労働、安全衛生、環境、企業倫理の各領域における取り組みを査定する。

【予 定】

平成26年11月 ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.） 増産に向けた生産体制と財務基盤の強化を図るため2百万USドルの増資を行う（増資後資本金 7百万USドル）。

平成26年11月 環境への取り組みと採算性の向上を目的として
エコUV乾燥システム搭載オフセット印刷機を導入する。

第67期 第2四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第67期 第2四半期		第66期 第2四半期		対前年 同期比	備 考
		%		%		
売 上 高	5,667	100.0	5,692	100.0	△ 25	
売 上 原 価	4,739	83.6	4,718	82.9	20	
売 上 総 利 益	928	16.4	973	17.1	△ 45	
販売費及び一般管理費	843	14.9	765	13.4	78	
営 業 利 益	84	1.5	207	3.7	△ 123	
営 業 外 収 益	25	0.4	27	0.5	△ 2	
営 業 外 費 用	26	0.5	27	0.5	△ 0	
経 常 利 益	82	1.5	208	3.7	△ 125	
特 別 利 益	17	0.3	5	0.1	12	
特 別 損 失	2	0.0	55	1.0	△ 53	
税金等調整前当期純利益	98	1.7	157	2.8	△ 59	
法 人 税 等	24	0.4	1	0.0	23	
少数株主損益調整前 当 期 純 利 益	73	1.3	156	2.7	△ 82	
少 数 株 主 利 益	3	0.1	2	0.0	1	
当 期 純 利 益	69	1.2	153	2.7	△ 83	

第67期 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

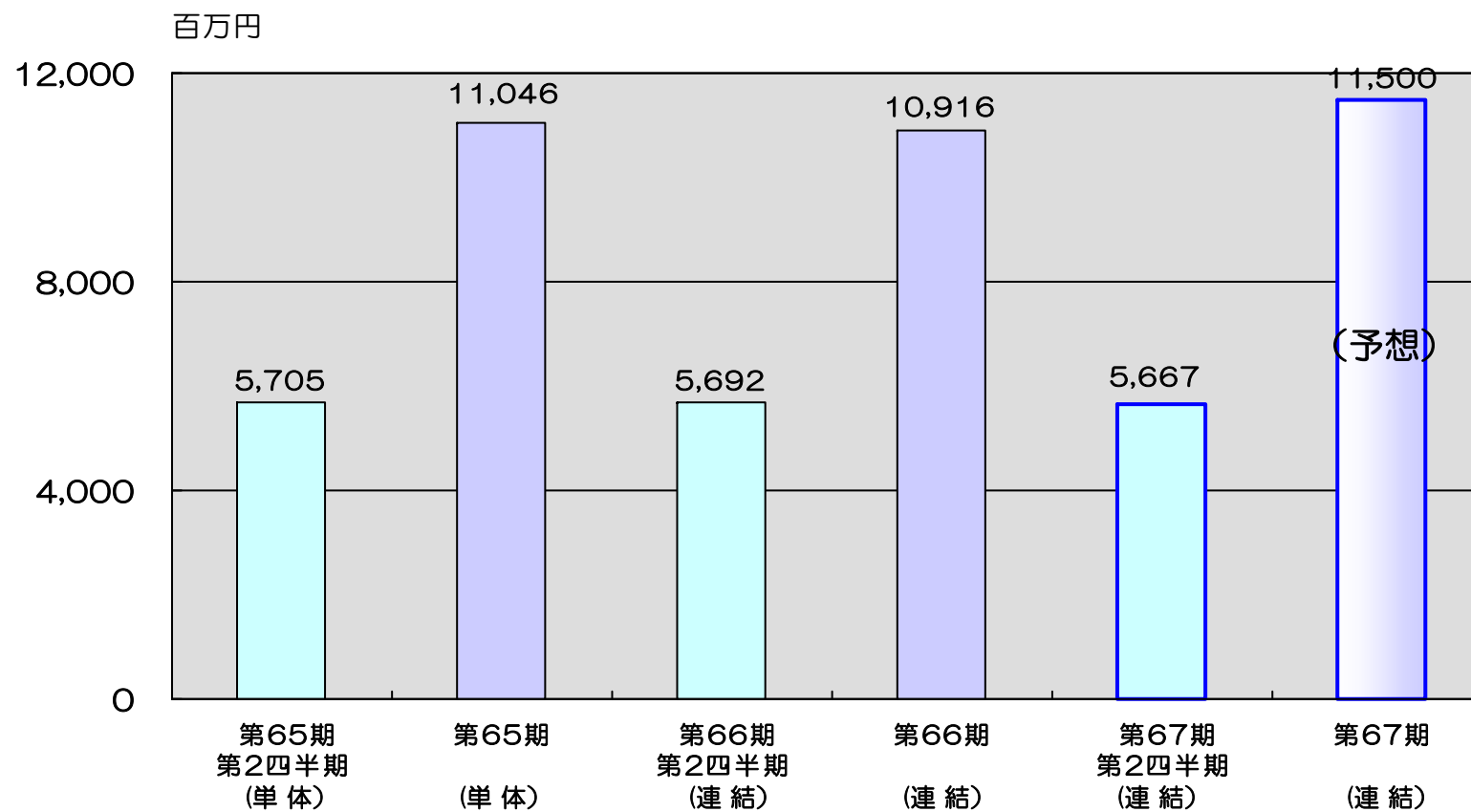
	第67期 第2四半期		第66期		対前期比	備 考
	金額	%	金額	%		
流動資産	7,442	45.2	6,701	43.2	741	
固定資産	9,001	54.8	8,807	56.8	194	
有形固定資産	7,259	44.2	6,464	41.7	794	
無形固定資産	27	0.2	17	0.1	9	
投資その他の資産	1,715	10.4	2,325	15.0	△ 610	
《資産合計》	16,457	100.0	15,509	100.0	948	
流動負債	4,966	30.2	4,657	30.0	309	
固定負債	2,941	17.8	2,414	15.6	526	
《負債合計》	7,907	48.0	7,072	45.6	835	
株主資本	8,314	50.5	8,268	53.3	45	
資本金	2,244	13.6	2,244	14.5	0	
資本剰余金	2,901	17.6	2,901	18.7	0	
利益剰余金	3,660	22.2	3,614	23.3	45	
自己株式	△ 492	△ 3.0	△ 492	△ 3.2	0	
その他の包括利益累計額	205	1.2	141	0.9	64	
少数株主分	30	0.2	27	0.2	2	
《純資産合計》	8,550	52.0	8,437	54.4	112	
《負債・純資産合計》	16,457	100.0	15,509	100.0	948	

第67期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

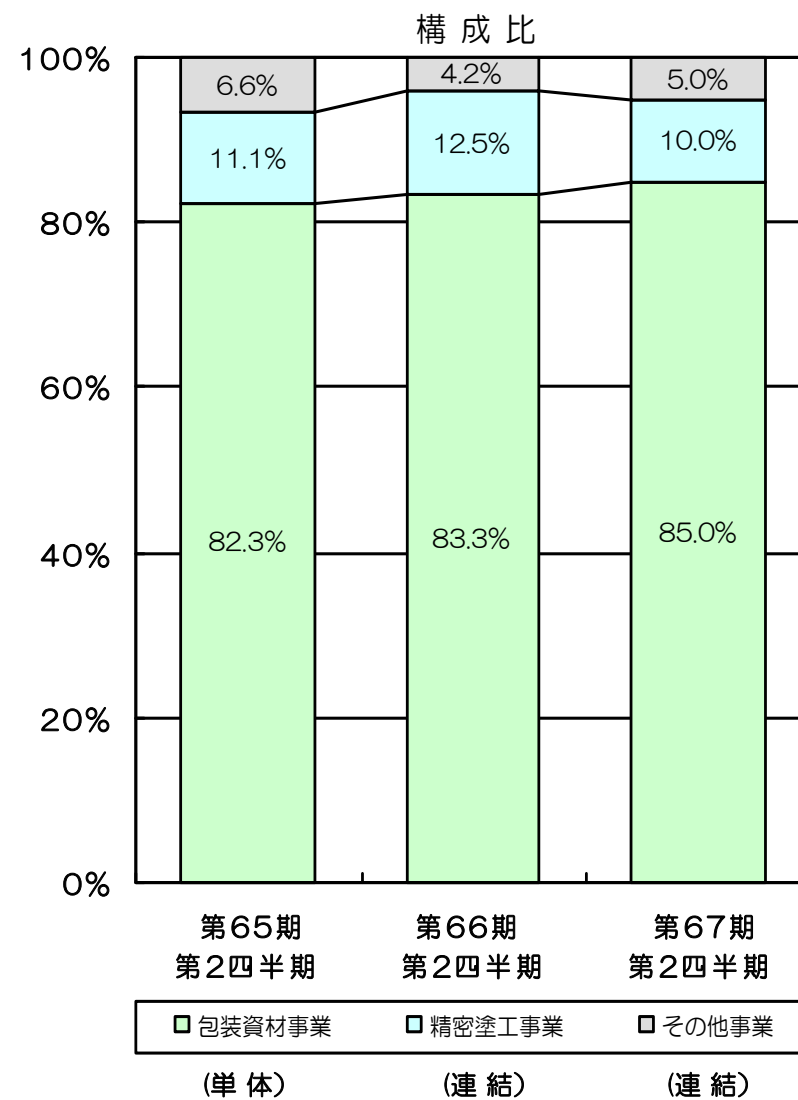
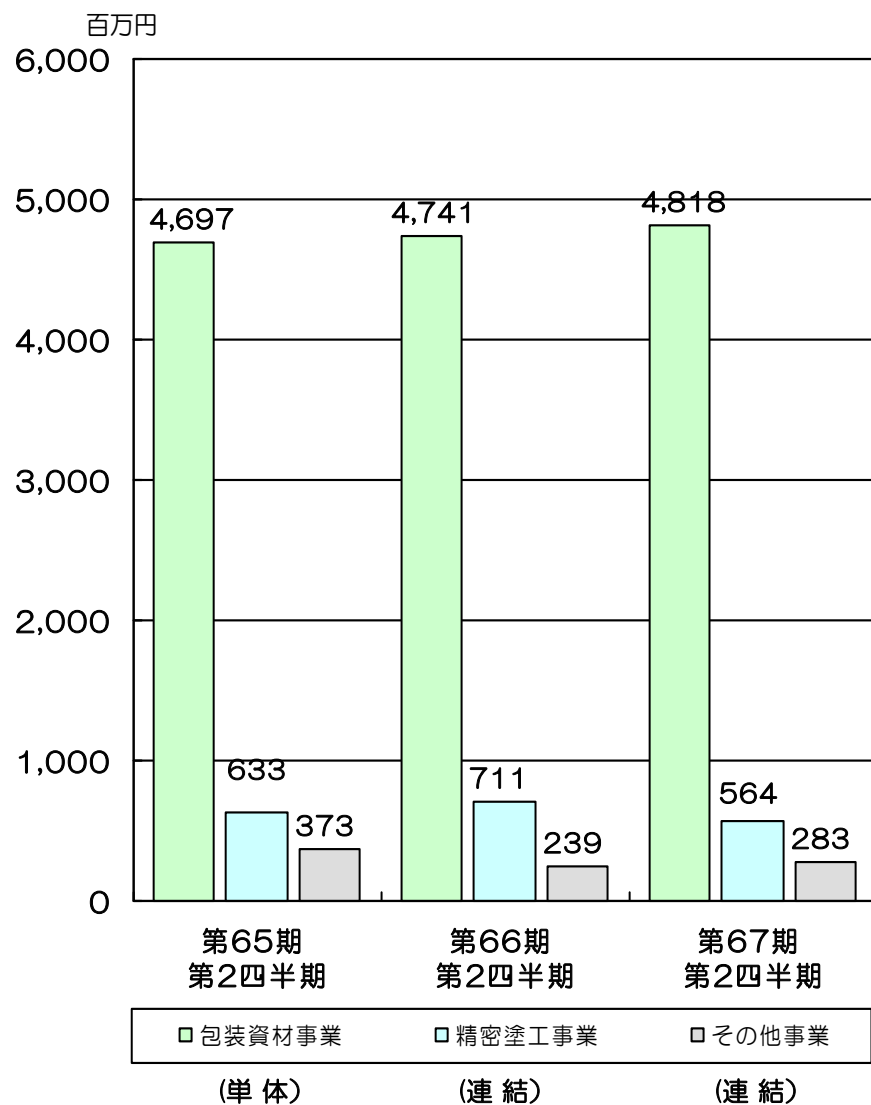
(単位：百万円)

	第67期 第2四半期	第66期 第2四半期	当第2四半期の特記
営業活動によるキャッシュ・フロー	187	89	税金等調整前純利益 98 減価償却費 353 売上債権増加 △ 364 棚卸資産増加 △ 51 その他試算増加 △ 54 その他負債増加 209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 453	△ 208	投資有価証券売却 227 有形固定資産取得 △ 621 その他投資支出 △ 56
財務活動によるキャッシュ・フロー	477	85	長期借入金収入 800 長期借入金返済 △ 255 配当金支払 △ 49
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	10	
現金及び現金同等物の増減額	218	△ 23	
現金及び現金同等物の期首残高	1,948	2,247	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	349	—	トーインベトナム連結による
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,516	2,224	

売上高の推移



事業別売上高

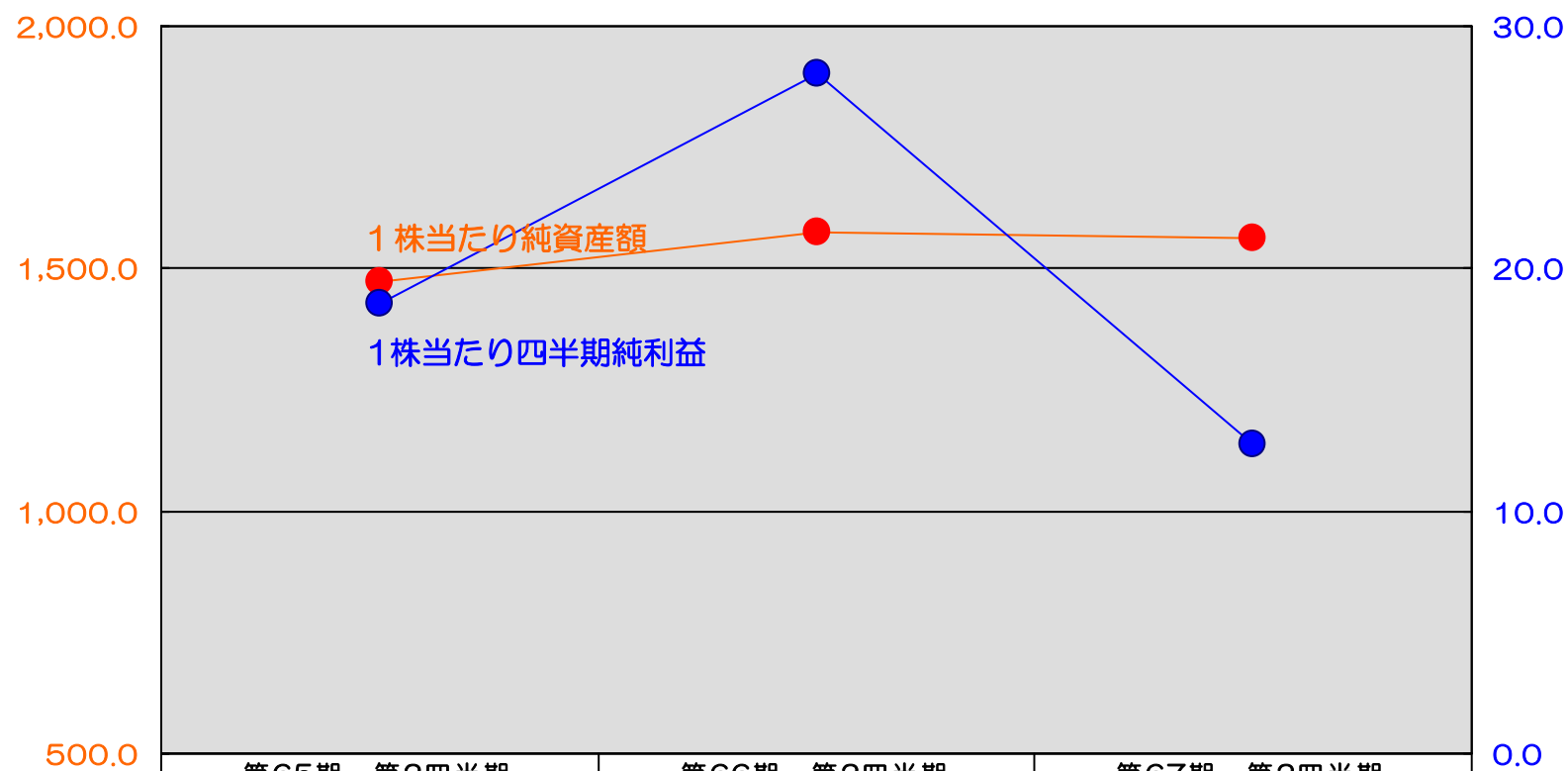


經 營 指 標

経営指標 I

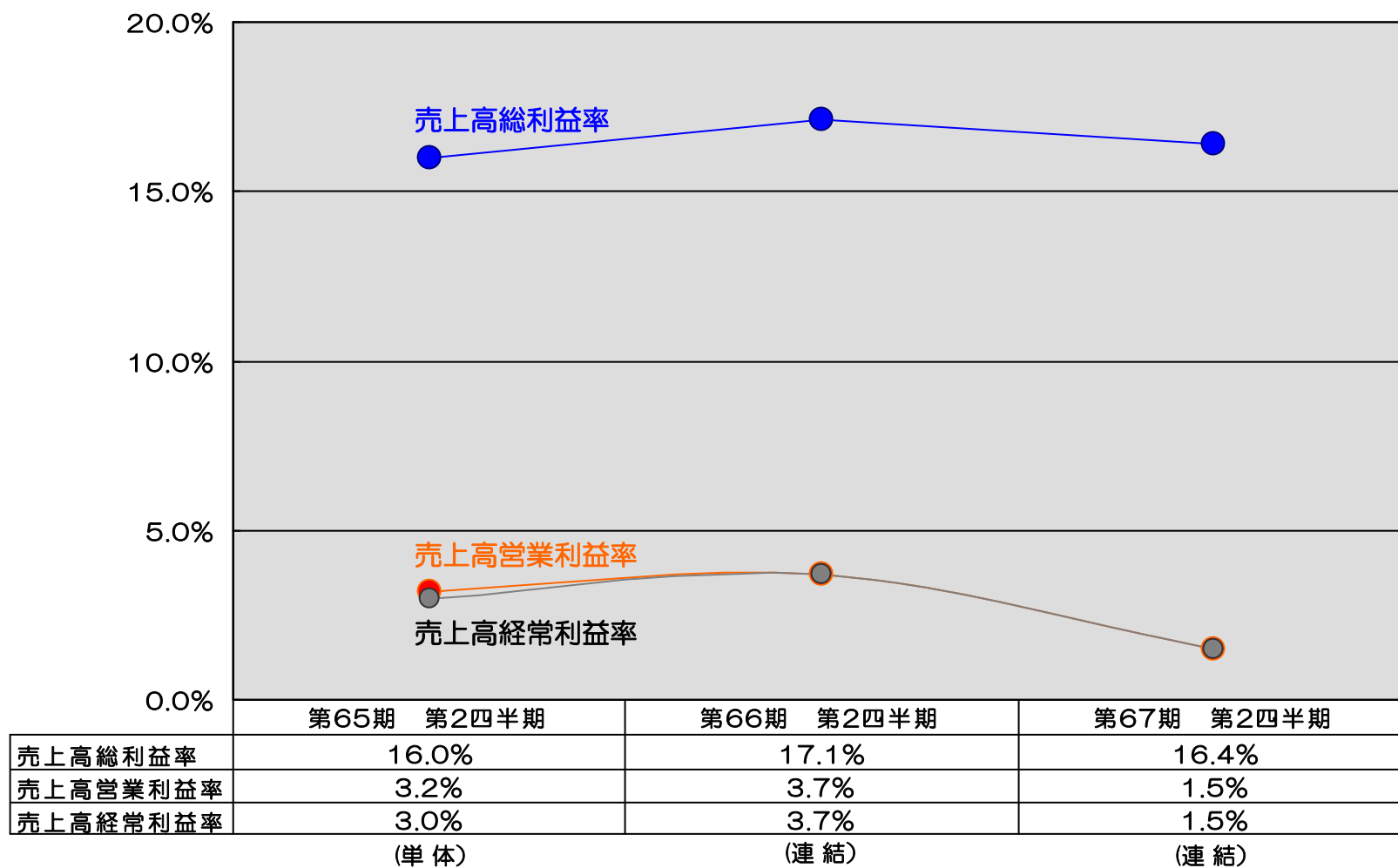
1株当たり純資産額 (円)

1株当たり四半期純利益額 (円)

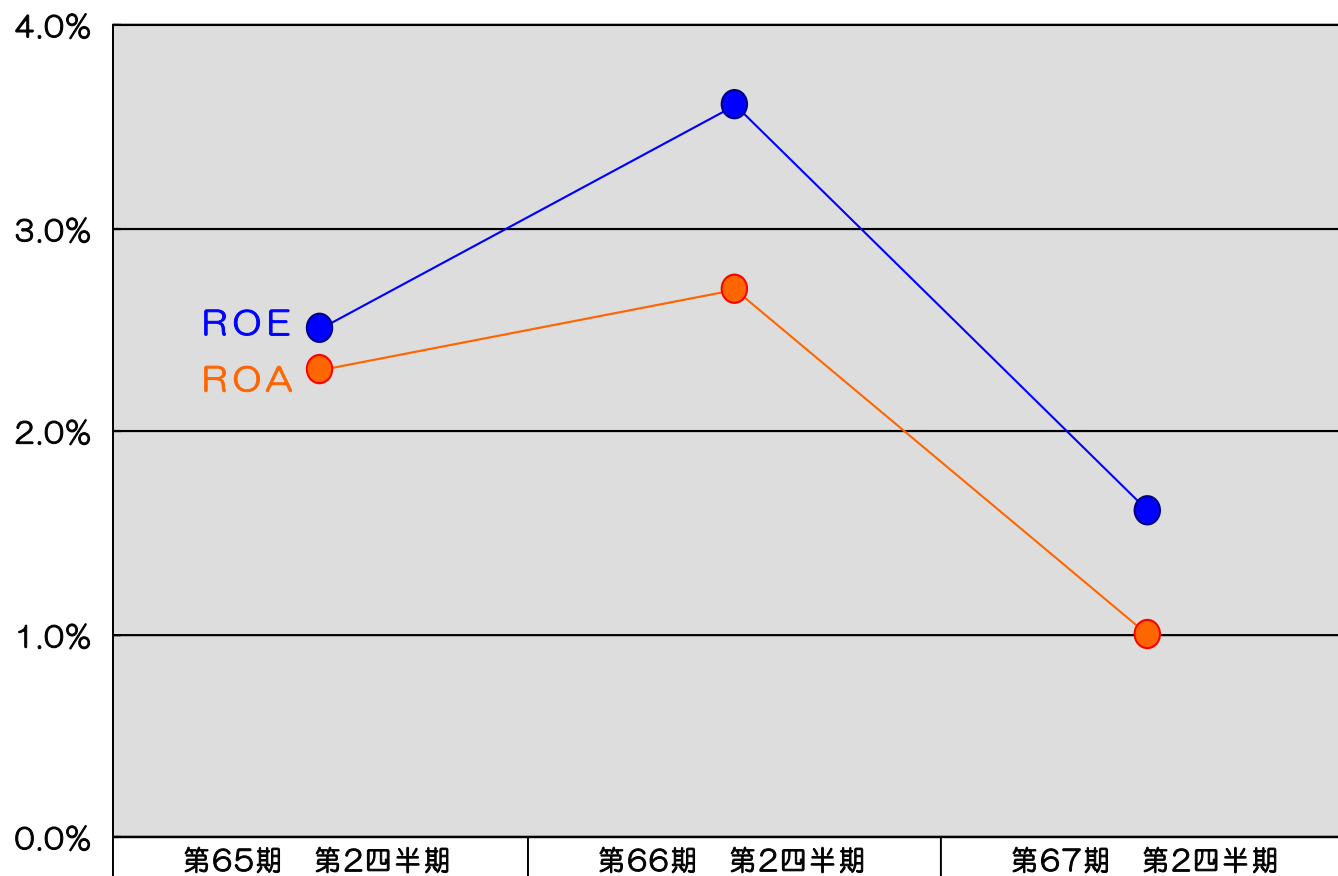


	第65期 第2四半期	第66期 第2四半期	第67期 第2四半期
1株当たり純資産	1,471.20	1,573.30	1,563.26
1株当たり四半期純利益	18.59	28.07	12.78
	(単体)	(連結)	(連結)

経営指標Ⅱ



經營指標 III



ROA(總資產經常利益率)	2.3%	2.7%	1.0%
ROE(自己資本四半期純利益率)	2.5%	3.6%	1.6%
	(単体)	(連結)	(連結)

第67期 連結業績予想

第67期の連結業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、消費増税により個人消費や設備投資といった内需が減少したことなどで経済成長が減速したものの、日銀の追加金融緩和策や政府の成長戦略の実行により、景気は緩やかに回復することが予想されます。

包装資材業界においては、個人消費の回復が予想されるものの、円安による諸材料価格やエネルギーコストが、引き続き上昇することが想定されるなど、厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、既存客先からの受注の維持・拡大、新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、工場の生産体制の一層の整備、省人化・省力化・生産性向上のための諸施策の推進によるコスト削減、新商品・新技術の開発などを進めてまいります。さらに、本年4月より操業を開始したベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）の受注と生産の拡大に向けた体制を整備し、タイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD）ならびに関連会社と緊密に連携して、東南アジアを中心としたグローバルな事業展開の拡大を図ってまいります。

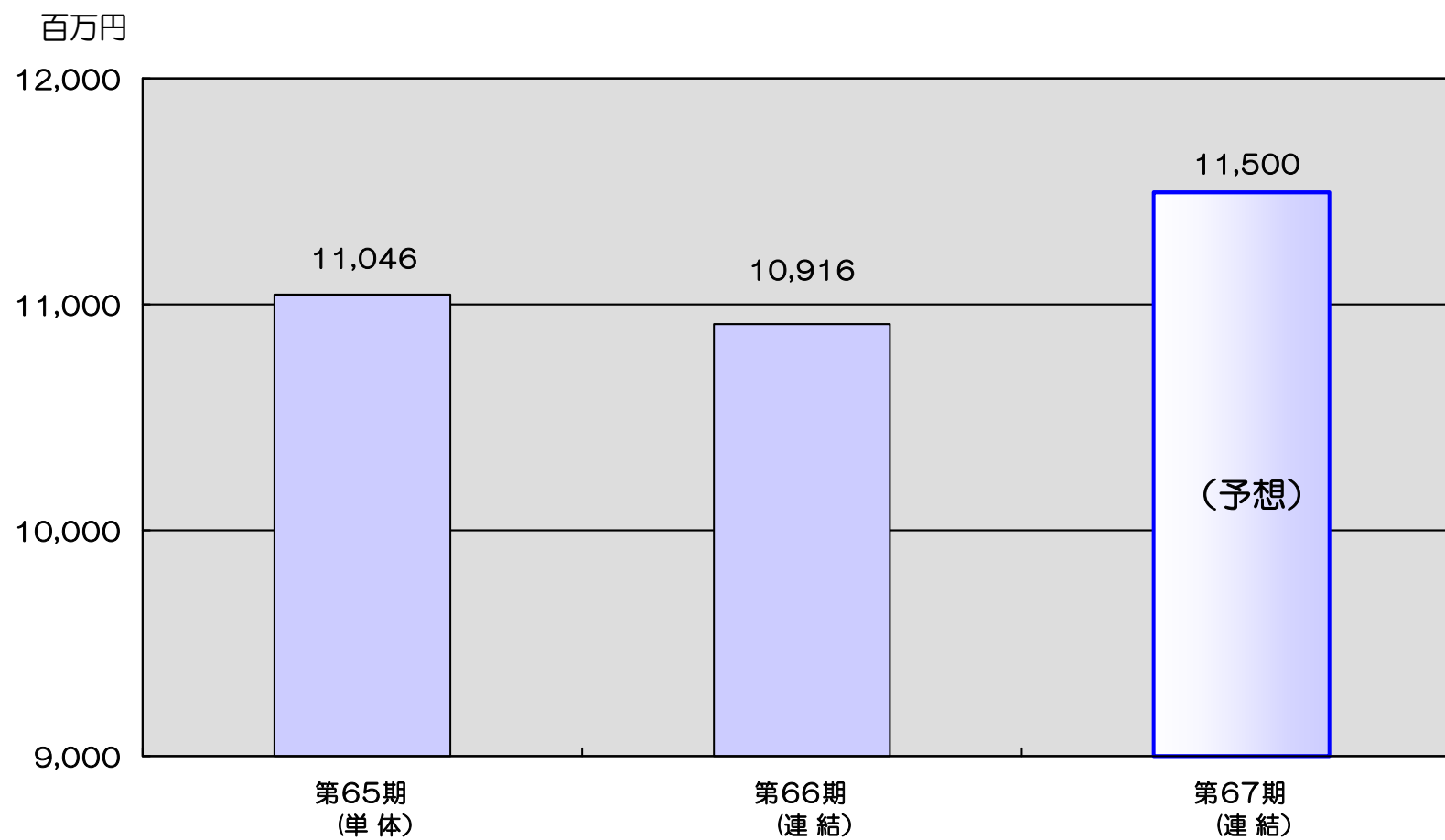
この結果、通期の見通しは、売上高11,500百万円、営業利益150百万円、経常利益140百万円、当期純利益100百万円を見込んでおります。

第67期の連結業績予想

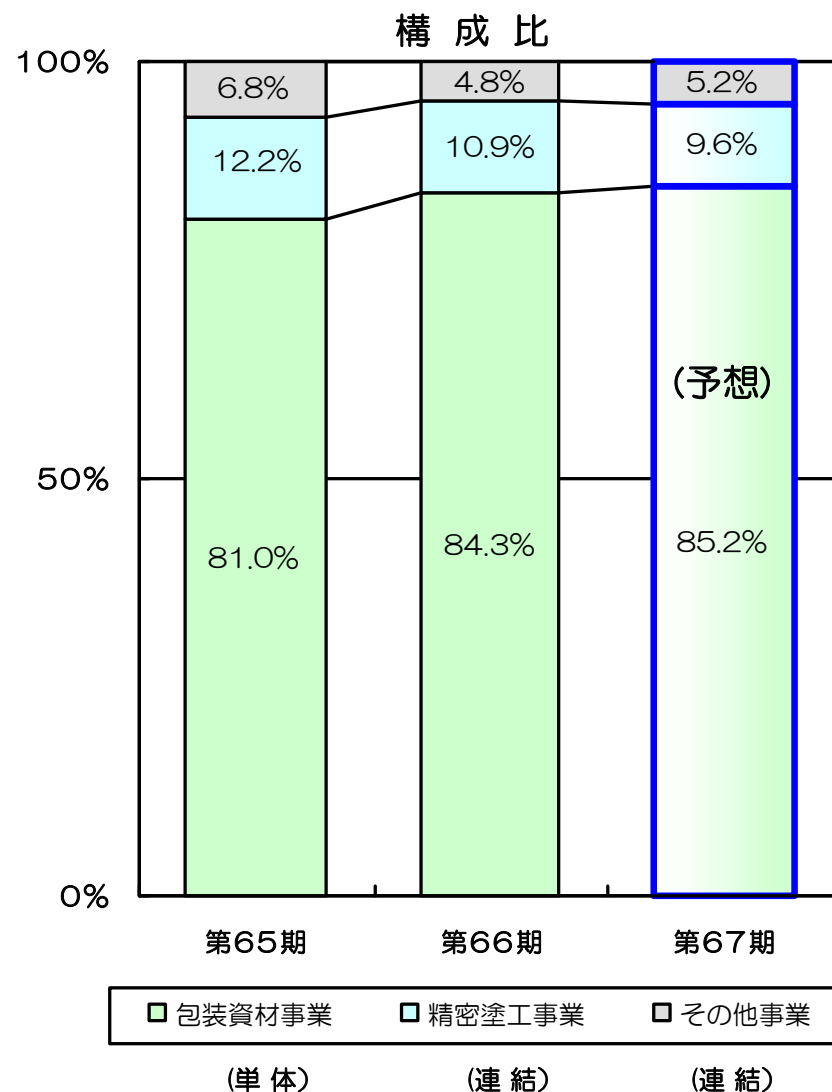
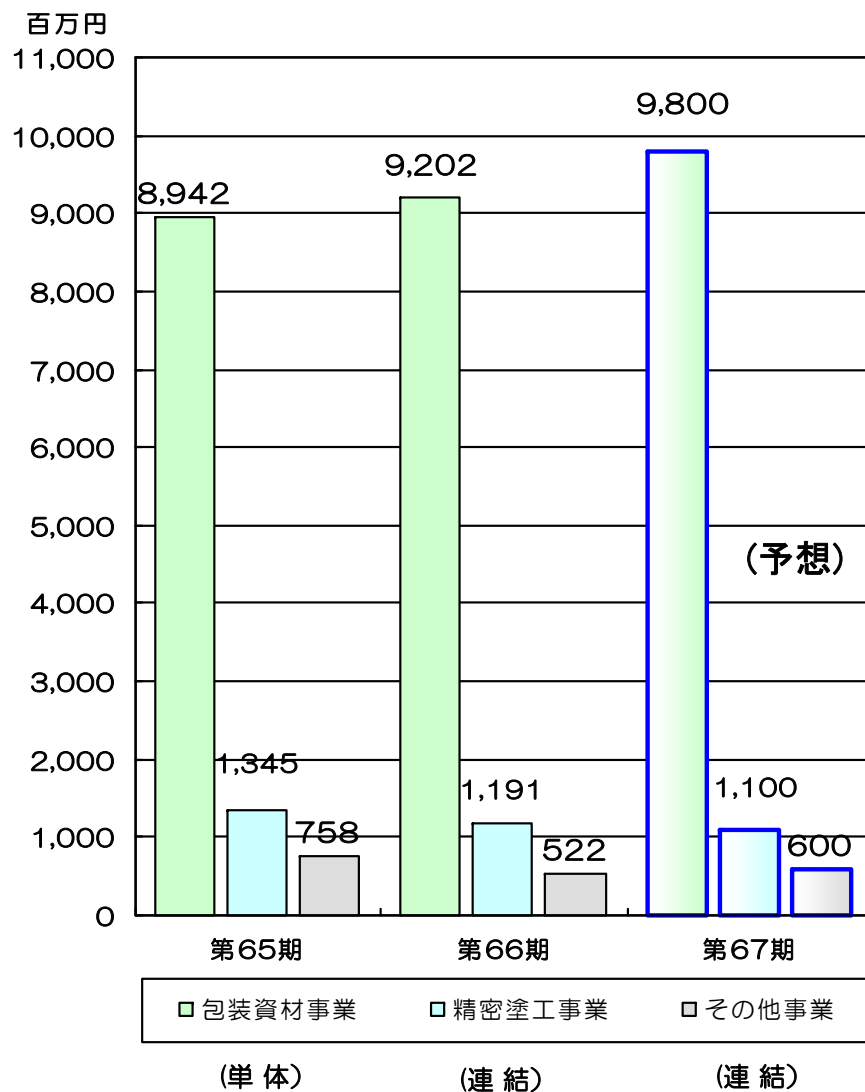
(単位：百万円)

	当第2四半期(実績)		通期(予想)	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率
売上高	5,667	% 100.0	11,500	% 100.0
営業利益	84	1.5	150	1.3
経常利益	82	1.5	140	1.2
当期純利益	69	1.2	100	0.9

通期売上高



事業別売上高



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

<経営理念>

- ・ お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- ・ 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- ・ 夢と利益を追い、それが皆の幸福につながる

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーン株式会社

《事業所》

◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

◎大阪営業所

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-27
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十倉二16-1
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)
タイ国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)
ベトナム国ビンズン省

《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)
タイ国バンコク市



○ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131